

Bibliophiles

ビブリオフィルス No.10(2017年度)

新着図書案内・お知らせ 西宮東高校図書館

(ここで紹介するのは新しい本の一部です。)



『藤井聡太 名人をこす少年』 津江章二 (共同通信社記者)

将棋界に突如現れ出た天才、藤井聡太。プロ棋士になる最年少記録を62年ぶりに更新した(14歳2か月)だけでもすごいのに、さらにデビュー戦から負けなしでついに「不滅の連勝記録」と言われていた28連勝を超え、29連勝を成し遂げてしまいました。もはやマンガの世界のヒーローに近いこの人物の実像に、アマチュア棋士4段の筆者が多彩な方面から迫ります。藤井氏の子ども時代(って、今もまだ半分くらいは子どもに近いですが・・・)の写真も多く掲載されていますよ。

『さらば、民主主義 憲法と日本社会を問いなおす』佐伯啓思

民主主義は多数決の原理から成り立っています。しかし、多数決がベストの結論を導くとは限らない、のは皆さんご存知ですよね?むしろ、みんなで間違っただけの方向へ流れてしまう危険性は十分にあります。この本ではこうした民主主義や憲法について掘り下げて考えています。ちなみに、作者は「護憲」でも「改憲」でもなく、「憲法廃止論者」です。

『2020年度大学入試改革！ 新テストのすべてがわかる本』

伯井美德(前大学入試センター理事)
大杉住子(大学入試センター審議役)
いよいよ次の本校入学生の受験時から「センター試験」は廃止になり、新しいテスト「新テスト」が行われます。いったいどんなテストになるのか、色んな憶測がネット上で飛びかっていますが、ちょっと待って下さい、現在一番信頼できる本はこれです!筆者を見てもらえばお分かりのように、この本は実際に新テストを作ってきた「教育官僚」のお二人が書いたものだからです。ご一読を。

『人工知能解体新書』 神崎 洋治

今年の4月に人工知能搭載の将棋ソフトが、はじめて公式戦で将棋の名人を破りました。また人工知能は作曲や小説も作れ、将来は車の自動運転にも一役買うと見られています。本書は、こうした話題の人工知能について初心者にも分かりやすく、基礎から仕組みを教えてください。カラー刷りの写真やイラストも多いですよ。

国語科の先生方による選書です。

『まんがでわかる日本の古典大辞典』 監修:吉野朋美 まんが:春野まこと ほか

西暦712年に成立した『古事記』と720年の『日本書紀』。たった8年しか違わないのに、なぜ当時の日本の支配階級は似たような歴史書を作りだす必要があったのでしょうか?このような文学史の疑問に、この本はまんがやイラストを豊富に使用しながら、分かりやすく答えてくれます。

『21世紀版・少年少女古典文学館』から「古事記」「源氏物語」など14冊入りました!

古典を読むさいに、「有名作家による現代語訳古典」にするとやっぱり面白いし読みやすいけど、解説が少なくて原作の背景とかが分かりづらい。かと言って解説が詳しく書いてあるのにすると、いかにも古典の研究者が訳しました、って文章が退屈に感じてしまう。そう思っているあなたには、この講談社版はまさに「ちょうどいい」古典かも知れません。写真やイラストも多用した註を充実させ、時には本文にも「ルビ」のかたちで説明をほどこすなど、学習書としても万全。また、橋本治や瀬戸内寂聴などの著名な作家が訳しており、読み物としても面白い古典作品集となっています。

『花咲舞が黙ってない』池井戸潤

女優・杏の主演による2014年からのテレビドラマと同じタイトルですが、中身は別物で、昨年読売新聞に連載されたオリジナルの短編小説集です。同じ作者の「半沢直樹」と同じく正義感と意志の強いヒロイン・花咲舞。彼女が銀行をめぐる不正を華麗に暴いてゆくさまをお楽しみください。



『決定版 原発の教科書』 津田大介・小嶋裕一 編

未曾有の災害をもたらした東北の津波から6年以上が経ちましたが、いまだに「原発を続けるのか、それともなくすのか」について日本国民全体の合意が形成されていません。この本は、「安全性」や「経済性」、また「核武装」など様々な角度から原発について論じています。じつに数多くの識者の意見が読めますので、ぜひ原発について考えるヒントにして下さい。

今号のひとこと

Impossible n'est pas français.

「不可能」はフランス語ではない。
ナポレオン・ボナパルト(1769-1821)

あまりにも有名な言葉ですが、原典はいたってシンプルで、「impossible(不可能)という単語はフランス語ではないよ。」というのが直訳になります。ちなみにimpossibleの発音は「アンポスィーブル」に近いです。

「フランス人たるものの、何事もあきらめてはいけない」という意気込みを表現した言葉でしょうが、ご存知のように日本では「余の辞書に不可能という文字はない。」と意識されて広く親しまれています。この訳が傑作過ぎて(?)オリジナルの言葉がかすんでしまうのが、草葉の陰のナポレオンには皮肉なことかも知れません。